

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名

【新】図書館環境整備事業費（地域交流整備）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111(内291)

E-mail : c21803@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費

75,941 千円 (現計予算額：

0 千円)

<財源内訳>

| 区分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-------|--------|---------|---------|-----------|-------|-------|-------|--------|---------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使 用 料 手数料 | 財 産 入 | 寄 附 金 | そ の 他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 現計予算額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 補正予算額 | 75,941 | 37,970 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 37,900 | 71 |
| 決定額 | 70,621 | 35,310 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 35,300 | 11 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県図書館は開館から30年が経過し、施設設備の経年劣化等がみられるため、図書館の安全・安心かつ快適な環境整備を実施する。

また、にぎわいの創出のため、児童コーナー、楽書交流サロン、屋外読書環境整備を実施する。

(2) 事業内容

岐阜県図書館の改修工事を実施し、にぎわい創出を図る。

【不良設備更新工事】

- せせらぎ用ろ過装置更新工事

【にぎわい創出にかかる工事】

- 児童コーナー改修工事
- 楽書交流サロン環境整備
- 屋外読書環境整備工事

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10 県有施設の改修であるため。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|--------|--------------------|
| 消耗品費 | 173 | 楽書交流サロン机等購入費、工事事務費 |
| 燃料費 | 12 | 工事事務費 |
| 役務費 | 12 | 工事事務費 |
| 業務委託料 | 2,891 | 屋外読書環境基本設計費 |
| 工事委託料 | 8,107 | 児童コーナー改修実施設計費 |
| 工事請負費 | 64,746 | 児童コーナー等工事費 |
| 合計 | 75,941 | |

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県図書館の運営方針4－1 (3) 環境整備、(5) 子どもの読書活動の支援

(2) 国・他県の状況

第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」4. 子どもの視点に立った読書活動の推進（文部科学省）

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県図書館は年間約29万人に利用され、県民の課題解決や生涯学習を支える社会教育施設であるが、にぎわいをさらに創出するために、故障設備の改修や滞在しやすい環境の整備は必要である。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

| |
|----------|
| ■ 新規要求事業 |
| □ 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽化が進む施設設備の營繕工事を行い、利用者にとって安全・安心かつ快適な環境を提供する。

また、図書館がさらににぎわいを創出できる施設へ変わるための環境整備を行う。

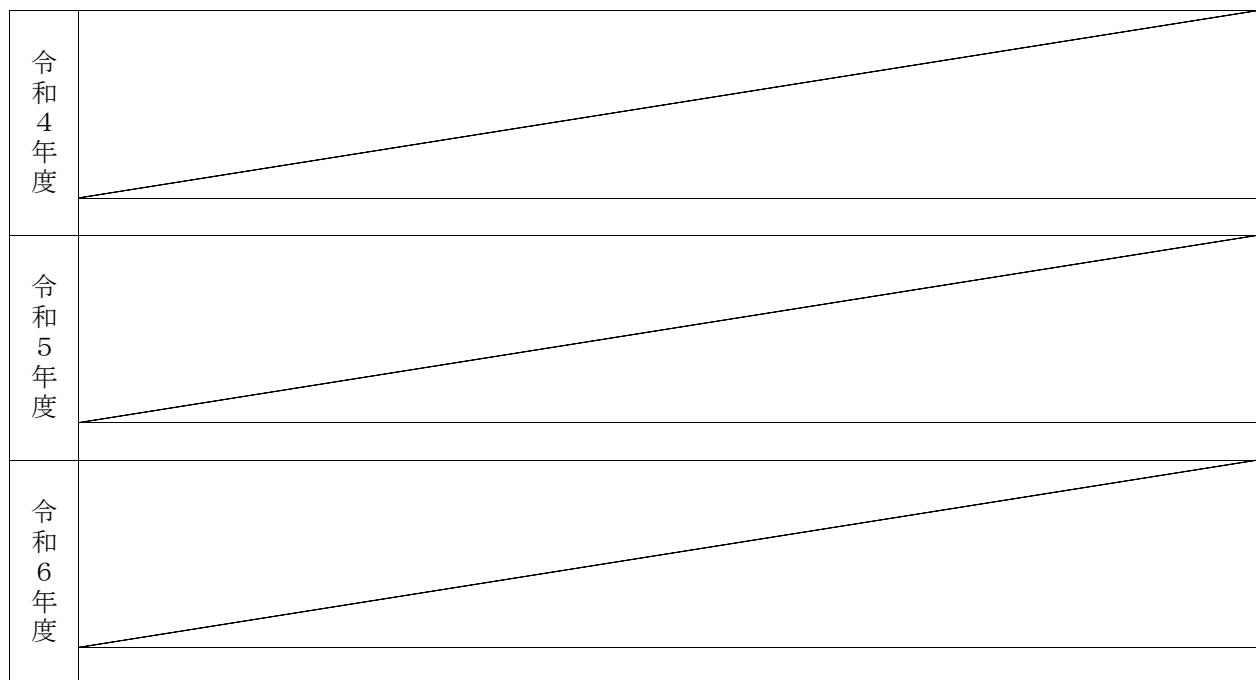
(目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R3年度 実績 | R4年度 目標 | R5年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-----|---------------|------------|------------|------------|--------------|-----|
| ① | | | | | | |
| ② | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

図書館の施設設備の營繕工事かつ、図書館のにぎわい創出に向けた施設環境を整備する経費であり、その性質上、指標を設定することが困難なため。

(これまでの取組内容と成果)



2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

| | |
|----------------------------------|---|
| (評価) 2 | 利用者の安全・安心を確保し、快適な環境を整備するための事業であり、必要性が高い。また、せせらぎ用ろ過装置は水質管理のため必要な改修となる。 |
| ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) | 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない |
| (評価) 2 | 施設・設備の更新等を行うことで利用者の安全・安心・快適な環境の提供に寄与した。 |
| ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) | 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている |
| (評価) 2 | 令和3年度の劣化調査による中長期計画の見直しにより、今後の適正かつ効率的な施設設備の更新計画の作成ができている。 |

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

利用者ニーズに図書館が対応できていないこともあるため、時代に合わせた環境整備が必要となっている。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
利用者の快適な環境整備のために必要な営繕工事について、計画的な実施を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | 【○○課】 |
| 組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など | |